

看護ひろしま

広島県看護協会報

2025
January
No.259

年男・年女2025年の抱負

山本恭子会長 年頭のごあいさつ

湯崎県知事と中本県議会議長へ要望書を提出

2024年度認定看護管理者教育課程

- 【看護師コーナー】
地域包括ケアシステムの中で必要とされる看護の力
- 【保健師コーナー】
対象者の心に響く運動指導のコツ
- 【助産師コーナー】
産後ケア ～切れ目のない支援～
- 【研修会レポート】
看護職のストレスの特徴とこころのケア
- 支部活動報告 広島西支部／廿日市支部
わたしの夜勤めし 元気の素、お味噌汁
広報委員のおすすめ 鍋料理
- 【Information】
役員・推薦委員立候補の届出
研修のリニューアルのお知らせ

広島県看護協会HPIはこちら



広島県かごちゃん

ひろしま看護フェスタ
2025
小学生絵画コンクール
作品募集中



Hiroshima Nursing Association
(公)広島県看護協会
会員数/合計19,503人
(令和7年1月1日現在)

年頭のごあいさつ

公益社団法人広島県看護協会

会長 山本 恭子

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろより看護協会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

少子高齢社会のピークである2025年、2040年問題に向け広島県の医療提供体制の礎として、地域包括ケアシステムの更なる推進のためにも、看護職の力は不可欠です。

また、これから更に進行する生産年齢人口の減少に対しては、「生産力を刷新して質を追求する」働き方改革が大きな要素と考えられます。

一方、医療DXが進められる中で、看護職が働く環境の改善、災害・感染防止における人材育成、地域包括ケアシステム、そしてネットワークづくり等、IT化推進を軸に事業を展開して参ります。

広島県看護協会は、社会情勢にも目を向けながら、看護職及び看護補助者の確保・定着及び資質向上に関する事業、労働環境改善、中山間地域の医療提供に関する事業など看護専門職としての役割が果たせるよう保健医療の動向を十分理解して、県民の安心・安全な医療提供および健康づくりのために事業を推進してまいります。

今年が、平穏な年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



湯崎県知事と中本県議会議長へ要望書を提出

専務理事 溝上 慶子

令和6年12月3日(火)湯崎県知事、中本県議会議長を訪問し、令和7年度に向けた要望書を提出しました。本会からは、山本会長、松田副会長、板谷広島県看護連盟会長、溝上が出席しました。重点要望項目は、以下のとおりです。



1 地域医療を支える看護師確保システムの整備

中山間地域の看護師確保には、地域間及び医療機関の連携と協力、広域行政による調整が必要であり、基幹病院と中山間地域の拠点病院等との間の看護師派遣・循環システムの構築に向けた検討の早期の着手。

2 ナースセンターの機能強化

ナースセンター業務に係る広報のさらなる充実・強化及び新たに開始された看護補助者の職業紹介業務等に係る体制の整備等。

3 看護の質の向上及び業務の効率化に向けた看護提供基盤の強化

特定行為研修受講機会の拡充及び研修修了後の活動促進への積極的な支援、並びに看護業務のDXに係る機器整備への支援及び人材育成と相談支援体制の強化。

4 中山間地域における医療的ケア児の就学が可能となる体制整備に係る支援

医療的ケア児の就学支援には看護師の配置が不可欠であり、地域の基幹病院及び関係市町等と連携した医療的ケア児就学のための看護師配置に係る支援。

湯崎県知事、中本県議会議長からは、要望内容のご理解・ご賛同の意をいただきました。



現状打破

慣れ親しんだ"いつもの自分"から脱皮し、公私とも精進の一年にしたいです!

中国電力株式会社 中電病院

金井 美奈子



笑顔

今年の目標は、自分も周りも笑顔で過ごせるようにすることができるとです。

広島県立総合リハビリテーションセンター

小田 月陽



日々成長を

笑顔と感謝を忘れず

笑顔で患者さんを癒し、周りへの感謝を忘れず頑張ります。

広島赤十字・原爆病院

西村 聖

チームワークを大切に



しなやかに成長して、チームの潤滑油になりたいです。

医療法人社団仁慈会 安田病院

岩木 志都

いつも笑顔で

ポジティブに!



仕事もプライベートも全力投球で楽しみたいです。

医療法人あかね会 土谷総合病院

河村 知恵

年男・年女 2025年の 抱負



救急の現場ではありますが、患者さんの声をしっかりと聴き、対話を大切に頑張ります!

地方独立行政法人広島市立病院機構
広島市立広島市民病院

八木 智成



挑戦

コロナ禍で始めた登山。今年もいろんな山に挑戦したいです。

医療法人社団生和会 たかの橋中央病院

下田 泰子

三度の飯より
看護が好き♡



元気はつらつ!

はじける笑顔とあたたかい心で患者さんに寄り添います!!

社会医療法人千秋会 井野口病院

小林 順子

心がける

丁寧な関わりを



患者様が穏やかに入院生活を過ごせるように看護していきたいと思ひます。

医療法人若葉会 西条中央病院

出口 ひとみ

笑顔で表現



患者さんに寄り添い傾聴し安心感を伝えられるよう一層頑張ります。

医療法人社団葵会 八本松病院

萬 朋枝



令和6年 秋の叙勲

瑞宝単光章 受章

おめでとうございます

藤江 孝美 様

医療法人紅萌会 福山記念病院

それぞれの場所で輝く 「看護管理者」を目指して

看護生涯教育・研究センター
認定教育部 比江島 文江

2024年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル第1期は4月16日に開講し7月23日に閉講しました。今回の修了者は69名です。認定看護管理者への道のりは「セカンドレベル」「サードレベル」と続いていきますが、この69名はそのスタートラインに立ちました。

これまででも、急激に進化する医療の現場で、確かに「看護師」はその役割を果たしてきました。しかし、コロナ禍での「看護師」への評価は、個人のスキルに対する賞賛ではなく、当たり前のように受け継がれてきた

「看護職」に対する賞賛だったように思います。

今回の、受講者の6割は看護主任職です。チームリーダーとして、日々現場で患者さんと向き合っている彼らが、看護の質を評価し、その価値を可視化し高めていくことを、この教育課程で学ぶことができたように思います。高度急性期の病院・中小規模の病院・介護施設・訪問看護など様々な現場で、それぞれの看護の価値を示してくれることを期待しています。



受講者のコメント

認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して

社会医療法人祥和会 脳神経センター 大田記念病院
宮崎 由佳

今回、ファーストレベルの受講は看護部長の勧めもあり、受講を決めました。自分がついていけるのだろうかと不安でしたが、他施設の参加者との交流もあり、仲間ができました。仲間と共に管理について学び、自部署の課題についてレポートに取り組むことで管理の視点で考えることができました。研修での学びを自部署で活かし、看護の質の向上に向けて取り組んでいきたいと思えます。

社会福祉法人 広島県リハビリテーション協会
重症心身障害児者施設 ときわ呉
藤本 美智子

私は今回の研修で、看護管理者の役割について学ぶことができました。課題レポートでは問題の本質を捉えること、思考を理論立てて文字で表現することに苦戦しましたが、サポートを受けながら乗り切ることができました。研修の中で最も印象的だったのは、私たちは変革者として組織を変えていかなければならないという言葉でした。組織としての成長を目指し、共に考える仲間を増やしながら日々取り組んでいきたいと思えます。

看護師
職能研究会

地域包括ケアシステムの中で必要とされる看護の力 ～ときどき入院、ほぼ在宅を支える連携～

9月21日(土)神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター地域ケア教育部長・保健福祉学部 柴山志穂美准教授をお招きして、「地域包括ケアシステムの中で必要とされる看護の力」をテーマに研究会を開催しました。

柴山先生の講演後、「看取りとなるAさん」を病院から訪問看護、グループホームへと連携した事例について、マツダ病院地域連携センター 宮迫ふみえさん、安芸地区医師会訪問看護ステーション中村希美江さんより発表していただき、連携の進め方や課題解決について考えることができました。グループワークでは活発な意見交換が行なわれ、「職場に

おける視点の違いや問題点の抽出ができた」「他施設の取組みを知る機会となった」「今後の退院支援に活用する」等の感想をいただきました。

今回の研究会は96人の参加があり、看護職の地域連携における関心

看護師職能委員会

岩佐 有美

(地方独立行政法人広島市立病院機構
広島市立北部医療センター 安佐市民病院)

の高さがうかがえ、参加者がそれぞれの役割において、「ときどき入院、ほぼ在宅」を支えるために、何が必要かを考える貴重な機会となりました。



柴山志穂美先生



支部活動報告

広島西支部

フィットネスフラでリフレッシュ

広島西支部長 杉山 直子 (医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院)

今年の交流事業・リフレッシュ研修会は、JWI (JAPAN WELLNESS INNOVATION) 認定インストラクターの本田みどり先生と生徒さんを講師にお招きし、フィットネスフラを体験しました。

慣れない腰の動きに戸惑いました

が、先生方の鮮やかさと心地よいハワイアンに癒され、参加者31名も楽しく踊ることができました。

「身体を動かすと気持ち良い」「楽しく体験できた」などの意見が聞かれ、協会員が笑顔となり、心身共にリフレッシュした研修会になりました。



廿日市支部

アロマでリラックス

廿日市支部長 佐藤 澄香 (広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院)



アロマリラックス Lauraceae の来須真紀先生に、アロマセラピーとアロマトリートメントについての話を聴き、その後参加者同士ペアとなり、香りを楽しみながらハンドトリートメントを演習しました。

感想からは、「眠れない認知症の入

所者の方に取り入れられそう」「他の参加者と楽しく会話しながら交流できた」「タッチングで安心感=看護に通じると思った」等マッサージやオイルの特徴やリラックス効果が得られたと好評な研修となりました。

保健師コーナー

保健師
職能研究会

対象者の心に響く運動指導のコツ ～エビデンスに基づいた効果的な運動を知る～

保健師職能委員会
横山 美紀
(地域包括支援センターさいぎ)

(株)メディカルフィットネスB-1 FITNESS&TRAININGB-1統括本部長(広島大学大学院 医系科学研究科 客員准教授)の松本直子先生を講師にお招きし「心も動く! 体も動く! その気にさせる運動指導」をテーマにご講演いただきました。

「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」のポイントや最新情報に加え、先生のこれまでの実践と研究に関する話から、エビデンスにもとづいた運動の大切さや効果について学ぶことができました。ユーモアもあり、なるほどと思える内容も多く、先生の話に引き込まれながらのあっという間の時間でした。また、ケーススタディをとおして、グループ



松本直子先生(左端)



で対象者にあわせた運動指導の内容を考え、提案する際の声かけやポイントについて発表しました。

受講者からは「早速、同僚や地域に戻る患者、住民などに運動の大

切さを伝えていきたい、今後に活かしていきたい」という感想も多く、実際に身体を動かしながら学ぶ充実した研究会でした。

助産師コーナー

助産師の活動
職場紹介

産後ケア ～切れ目のない支援～

助産師職能委員会
井坂 真実
(広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院)



外来保健指導の様子



産後ケア指導中の様子

当院では令和2年3月より産後ケア事業へ参入しました。近隣の市と連携して産後約2ヶ月までのお母さんと赤ちゃんに対する産後ケア入所を受け入れています。妊娠期の外来保健指導を通して、産後サポートの少ないお母さんへ行政サービスの情報を提供しています。また産後ケア入所中の状況を市の担当保健

師へ報告し、退所後のフォローを依頼したり、地域の助産院につなげお母さんたちが孤立することのないようにケアしています。当院で出産された方だけでなく、市からの依頼で利用される方もおられ、宿泊・デイケアを含め年間35件程度の利用があります。主に休息や授乳指導、育児相談や乳房ケアを希望される方が多く、お母さんの希望に沿って赤ちゃんを預かり休息時間を確保したり、沐浴や授乳・育児についての相談を受けています。令和6年5月には産婦人科病棟・外来ともに新棟へ移転し、新しく個室が増えたことで半年間でのべ30件の利用があり、リピーターも倍増しています。

看護職のストレスの特徴とこころのケア

広報委員会

松浦 美帆子

(独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター)

10月7日(月)岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 原田奈穂子教授をお招きして「ナースのためのこころのケア」の研修会が開催されました。

76名の参加があり、看護職のストレスの特徴とこころの健康のためのセルフケアについて理解を深めることができました。看護職特有のストレス要因として、「患者の命に関わる責任感・チーム医療でのコミュニケーションの難しさ・不規則なシフト勤務による私生活との両立困難・理想的なケアを提供できないことによる挫折感」があることを学びました。また、「慢性的な疲労、睡眠障害、

不安感、集中力の低下」が心身にさまざまな影響を及ぼすため、自分に合うストレス対処を知ることが大切であることを再認識しました。

ストレスのセルフケアについて、ストレスを隠そうとせず、今の自己のストレス状況を知り、ストレスマネジメントをすることが重要であること。そして、日常で実践できるセルフケア方法では、バランスの取れた食事や運動・ストレッチなど、一つのセルフケアを継続していくことが大切であることを学びました。これからも、看護職として働き続けるために、研修での学びを活かしていこうと思います。



研修会の様子



元気の素、お味噌汁

広報委員会 竹内 礼子

(医療法人社団光仁会 梶川病院)



私は味噌汁が好きで夜勤の御飯の時には必ず1杯のインスタント味噌汁を飲みます。味噌汁があることにより、御飯が華やかになった気になり嬉しく思います。個人的には豆腐の味噌汁が好きですが、嫌いな具はありません。

味噌汁は体にも良いので、味噌汁を飲み元気で仕事をしていきたいと思っています。

広報委員
の
おすすめ

鍋料理

広報委員会

鄭 淑美

(社会福祉法人恩賜財団 済生会呉病院)

なに鍋料理がお好き?

あけまして、おめでとうございます。

寒さも深まる中、我が家では体も温まる鍋料理が食卓を占領しています。

食材は白菜、長ネギ、ニンジン、豆腐、肉、キノコ、糸こんにゃくと定番ですが、飽きないように味変やメを変えて鍋料理を楽しんでいます。鍋料理といっても種類も味も沢山あります。広島県では美酒鍋、牡蠣の土手鍋、レモン鍋などありますが、私はまだ食べたことがないレモン鍋を挑戦してみようと思います。皆さんのおすすめ鍋料理はなんですか？



(公社)広島県看護協会改選役員及び推薦委員への立候補並びに推薦について

令和7年6月14日に開催する令和7年度広島県看護協会通常総会において、役員及び推薦委員の改選を行いますので、立候補並びに受付期間などについてお知らせします。立候補される方は、正会員5人以上の推薦を受けて届出用紙を選挙管理委員長宛てに郵送してください。届出用紙は本会にありますのでご連絡ください。

- 提出先** : 〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-2
公益社団法人広島県看護協会 選挙管理委員長宛て(親展)
- 届出期間** : 令和7年2月1日(土)～2月14日(金) ※当日消印有効
- お問合せ先**: 広島県看護協会 選挙管理委員会事務局 TEL (082) 293-3362

《改選役員及び推薦委員の改選数》

理事候補者	会長	1人
	副会長	1人
	常任理事	1人
	理事(保健師)	1人
	理事(看護師)	1人
	理事(広島東)	1人
	理事(広島西)	1人
	理事(広島南)	1人
	理事(広島北)	1人
	理事(廿日市)	1人
	理事(呉)	1人
	理事(福山・府中)	1人
	理事(准看護師)	1人
委員候補者	監事	1人
	推薦委員	9人

【令和8年度(公社)日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について】

令和8年度(公社)日本看護協会総会の代議員及び予備代議員の立候補者の届け出を受け付けます。公示は、本会館内に掲示すると共に本会のホームページに掲載します。
なお、代議員及び予備代議員候補者の推薦は、「公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する内規」に基づき推薦委員会が行います。《立候補の届出先、届出期間は上記と同様です。》

2025年度から日本看護協会「看護職の生涯学習ガイドライン」に基づいた研修を提供し看護職の生涯学習を支援します

次の項目を中心に「研修一覧」をリニューアルします



看護実践能力(すべての看護師に求められる能力)

看護実践能力は4つの能力から構成されています。各研修テーマはどの能力に該当するか、これから自分はどんな能力を向上していきたいか、研修を選択する目安となります。

※「看護師のまなびサポートブック」P27～28

専門的・倫理的・法的な実践能力 <ul style="list-style-type: none"> ・アカウントビリティ(責務に基づく実践) ・倫理実践 ・法的実践 	リーダーシップとマネジメント能力 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の委譲/移譲と管理監督 ・安全な環境の整備 ・組織の一員としての役割発揮
臨床実践能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをとらえる力 ・ケアする力 ・意思決定を支える力 ・協働する力 	専門性の開発能力 <ul style="list-style-type: none"> ・看護の専門性の強化と社会貢献 ・看護実践の質の改善 ・生涯学習 ・自身のウェルビーイングの向上

看護実践能力習熟段階

新人～IVの5段階になります。

※「看護師のまなびサポートブック」P36～39

新人	必要に応じ助言を得て実践する
I	標準的な実践を自立して行う
II	個別の状況に応じた判断と実践を行う
III	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる
IV	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する

研修分類

本会は6つの分類に基づいて研修を提供します。

分類1	専門職としての活動の基盤となる研修 習熟段階や活動の場、役割等を問わず、すべての看護職の活動の基盤となる研修
分類2	看護・医療政策に関する研修
分類3	人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 看護職の主体的な学びを支援する者の育成・支援を目的とした研修
分類4	看護管理者を対象とした研修 看護管理者としてより良く働くための環境整備に必要な労務管理に関する研修をはじめ、組織管理等に関する研修
分類5	資格認定教育 認定看護管理者教育課程に関する研修
分類6	看護職能団体としての研修等 看護職能団体としての諸課題を追求し、看護職能としての機能性を高めるための研修

食 ～ひろしまが育む風景～ 表紙の写真/牡蠣

広島県は牡蠣の生産量全国1位、全国の生産量の半分以上を広島県産が占めています。牡蠣の養殖は400年以上の歴史があるそうです。広島湾の西側に位置する地御前沖は島や岬に囲まれ波が穏やかで、河川がたくさんあるため海水が薄めの塩分濃度で、プランクトンも豊富など牡蠣が育ちやすい環境がたくさん揃っています。食べ方は様々ありますが、私は焼き牡蠣。プリっとした牡蠣を頬張りお酒をクイっと。冬の楽しみです。(国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 福田 敦)



広島県看護協会報 看護ひろしま

1月号/259号
発行 2025年1月
発行所 公益社団法人 広島県看護協会
〒730-0803
広島市中区広瀬北町9-2
TEL:082-293-3362
発行責任者 山本 恭子
編集 広報委員会
制作 有限会社パル